

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	社会援護推進事務				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	保健福祉部	課等名	福祉課		包含する細々目	1	3	1	2	10	1	145	
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり												
施策	36 生活困難者の自立及び支援												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要							
		事業期間	年度～	年度	関連計画 条例等								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	戦没者等の遺族、戦傷病者等の妻、戦没者等の妻 更生保護活動従事者等	戦没者等の遺族 戦傷病者等の妻、戦没者等の妻	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			1595	1595			
	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度					
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	戦没者等の遺族の援護 更生保護活動従事者への援護	戦没者等遺族弔慰金申請受付＝国債交付 戦傷病者等の妻、戦没者等の妻への給付金 受付＝国債交付	18目標	1595	最終目標	1595	23
			18実績	1106	19目標	489	↑
			23目標		23実績		最終目標 達成年度
			18目標		最終目標		
18実績				19目標		↑	
23目標				23実績		最終目標 達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・研修会、更生保護大会参加 ・飯田市遺族会へ補助金の支出<参考>再々目名:援護一般経費 ・戦没者等の遺族特別弔慰金請求受付及び国債券交付 ・戦傷病者等の妻特別給付金請求受付及び国債券交付 ・戦没者等の妻特別給付金請求受付及び国債券交付	1 更生保護大会参加(大町市) 2 飯田市遺族会へ補助金交付 3 戦没者遺族特別弔慰金請求事務及び交付事務 4 戦傷病者等の妻特別給付金請求事務及び交付事務 5 戦没者妻等の特別給付金請求事務及び交付事務	1 参加者 名 2 遺族会補助金額 3 請求受付件数 4 請求受付件数 5 請求受付件数	15 80000 1043 63 5
		1 更生保護大会参加(岡谷市) 2 飯田市遺族会へ補助金交付 3 戦没者遺族特別弔慰金請求事務及び交付事務 4 戦傷病者等の妻特別給付金請求事務及び交付事務 5 戦没者妻等の特別給付金請求事務及び交付事務	1 参加者 名 2 遺族会補助金額 3 請求受付件数 4 請求受付件数 5 請求受付件数	15 80000 100 20 1

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
一般財源	147	145	
事業費計(A)	147	145	
人件費	正規職員所要時間	18年度 320	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,144	0
	トータルコストA+B	1,291	145

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	生活に困っている人の課題や不安を少なくする	生活相談者数/人口(外国人を含む)	現状値	1.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	1.4
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ ・更生保護活動を推進し、明るく住みよい地域づくりを進める。 ・戦没者の追悼と遺族への援護	事業を取り巻く状況の変化 ・犯罪が凶悪化・低年齢化している。変質者や子供を狙った犯罪も起きていることから、より一層の取組が求められる。 ・遺族会員の高齢化	事業に対する市民や議会の意見
--	---	----------------

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) ・明るく安心な地域づくりの推進を図ることができる。 ・戦没者の追悼	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) ・更生保護活動の後退 ・戦没者への追悼の意を伝えられない
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) ・犯罪のない明るく住みよい地域づくりが必要 ・先の大戦による戦没者へ追悼の意を表す		効率性 評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由)
		公平性 評価 受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由)	

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がある	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	